

# 米沢興譲館 SSH通信

第9号

平成24年12月26日  
米興高 SSH 企画部

二期期末テストも終わり、生徒たちも肩の荷が下りた12月5日、宇宙飛行士の山崎直子さんを講師に迎えたSSH講演会が米沢興譲館高等学校講堂で行われた。『宇宙・人・夢をつなぐ～未来へはばたくみなさんへ』という演題で行われた講演会では、興譲館の全校生徒と保護者、山形大学学生など約800人が参加した。

青い訓練服で登場した講師の山崎直子さんは平成22年4月5日にスペースシャトル・ディスカバリー号に搭乗し、15日間に及ぶ宇宙飛行を行った、日本人女性2人目の宇宙飛行士である。講演会では宇宙飛行に関するクイズから始まり、宇宙戦艦ヤマトに影響を受けて宇宙に興味を持った事、学生時代は宇宙工学を専攻して宇宙ホテルの設計図を書いた事、念願の宇宙飛行士に選ばれたのにスペースシャトル・コロンビア号の事故により、宇宙飛行計画が白紙になってしまった事、それでも夢を諦めずに訓練を重ね、ようやく夢を実現できた事など、自分の実体験を踏まえながら努力することの大切さを話して頂いた。



講演して頂いた 山崎直子さん

## 宇宙・人・夢をつなぐ ～未来へはばたくみなさんへ～ 山崎直子さんを講師に迎えた SSH科学講演会



クイズの答え

長は高くなる。

未来へはばたくみなさんへ  
宇宙飛行士 山崎直子氏

講演終了後に行なったアンケートでは

・ もともと宇宙に興味があったので、すごく良い機会だった。宇宙関係の職に就きたいと思っているので、学問に励み、特に英語を頑張っていきたい。非常に面白かった。(1年生)

・ NASAなどで働いている人にすごく憧れを抱いた。同じ女性としてもすごく憧れる人だった。(2年生)

・ 自分が夢に向かって、どう頑張ればいいのか見出せたように感じた。(3年生)

・ 命がけのミッションを成し遂げたとは想像できないほど、きゃしゃな山崎さんの姿に、そのすごさを実感しました。このような刺激のある講演会をまた開いてください。子供たちにも、どんなその刺激をあげさせて頂ければと思います。(保護者)

・ 高校の時からこのような体験ができるのは、とてもうらやましい。参加させていたideありがとうございます。(山大学生)

などの感想を頂き、参加者全員にとって、充実した講演になった事がうかがえた。講演会から一週間経った12月12日17時55分、講演会の最後に教えていただいた国際宇宙ステーションが夜空に見える時間になると、校内放送が入り生徒も教員も夜空を見上げた。南西の空に光りながら移動していく国際宇宙ステーションの姿は、5分間ほどで消えてしまったが、生徒の心には大きな感動を残していったと思う。

では、そんな生徒の中の一人である佐藤友香さんの感想を通して感動を共有していこう。

### SSH講演会を通して

一年一組 佐藤 友香 (米沢四中出身)

今回、SSHの講演という形で、宇宙飛行士の山崎直子さんから貴重なお話を聞かせていただきました。私は宇宙の分野についてあまりよく知らなかったのですが、講話の内容についていけるか不安でした。しかし、山崎さんのお話は、私の考え方や未来と結び付けて聞くことができるようなもので、とてもためになりました。

### 壇上から下りて、生徒の質問に答える 山崎直子さん



私が特に印象深かったのは、山崎さんの考えです。宇宙飛行士になる事は多くの困難がつきものだと思いますが、山崎さんは『なんとかなる!』という気持ちを大切にされています。そして現在は宇宙飛行士となり活躍されています。

私は、その鍵は、山崎さんの考え方にあるのではないかと思います。例えば、自分に悩みがあったとして、どうすればいいのかわからないときに、どうしよう...と考えるのと、まあなんとかかなると考えるのでは、心の負担の大きさが変わると思います。後者の方が負担も軽くなり、その分物事を考えるのに余裕が持てるような感じがします。そして悩みの解決に繋がっていくのだと思います。このようにして、現状は同じでも考え方や視点を少し変えるだけで、その後の状態は変える事が出来る、という事を学びました。私はそういう考え方ができなかったもので、新鮮に感じたと同時に、見習ってみようと思いました。

これから学校生活を送っていくにあたり、様々な壁にぶつかってしまう事もあると思いますが、山崎さんに習って『なんとかなる!』と考えられるようになりたいと思います。落ち着いて周りを見渡し、解決への道を切り開けるように努めていきたいです。また、この考え方は様々な場面で生かしていけると思うので、大切にしたいと思います。

### 生徒代表 お礼の言葉

